

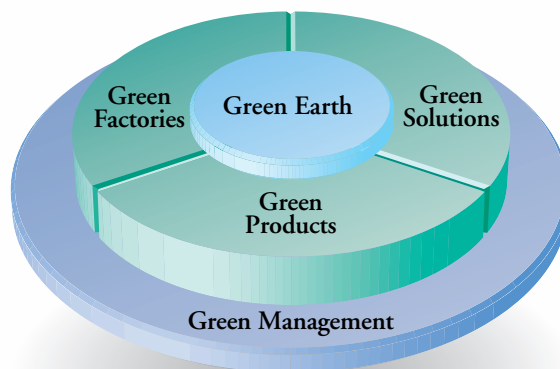
# グリーンライフ21への展開

## 21世紀の活動指針は、「すべてをグリーンに」

いま企業の環境活動には、その経済活動とベクトルを合わせた「環境経営」という視点が求められています。地球規模の環境活動には、生産手法の改善による省資源化、省エネルギーの実現などが必須です。こうした活動は、継続的な利益を創出するという企業の本質的な目標と矛盾するものではありません。そこで、富士通および富士通グループは、「環境経営」を実践する21世紀の活動を「グリーンライフ21」というコンセプトにまとめ、「すべてをグリーンに」をスローガンとして、2001年度より第3期環境行動計画を展開していきます。

## グリーンライフ21の5つの“G”

「グリーンライフ21」は5つの方向性を持っています。富士通は1935年の創業以来、「自然と共生するものづくり」という考えのもと、環境問題を経営の最重要課題と位置付けてきました。「グリーンライフ21」では、その趣旨に則る地球規模の環境活動を「Green Earth」と名づけ、中核に据えました。また「Green Products」ではグリーン調達の推進や、環境への配慮を強化したグリーン製品を全製品に展開します。「Green Factories」では、すべての製造工場ゼロエミッション活動を推進します。「Green Solutions」では、環境関連技術およびITのノウハウを活かし、お客さまの環境経営の実現をご支援します。さらに、これらの活動を支える「Green Management」として、ISO14001環境マネジメントシステムの構築をベースに、環境会計や環境情報の発行など、情報開示にも努めてまいります。



### Green Management

当社の環境経営を支える屋台骨です。その柱の一つとして、ISO14001<sup>\*1</sup>に基づく環境マネジメントシステムを構築。もう一つの柱として環境会計を導入し、エコロジーとエコノミーの融和をはかっています。また、本書「環境報告書」をはじめ、さまざまな手段で当社の環境活動を社会にお知らせしています。さらに、環境教育・啓発活動により、すべての従業員に環境意識の育成をめざします。

### Green Products

環境保全に優れた製品開発とリサイクルを推進。Green Productsとは、製品の開発段階と廃棄段階での環境活動の総称です。具体的には、環境への負荷が少ない部品などを優先的に調達するグリーン調達の推進、環境への配慮を強化したグリーン製品の開発、製品のライフサイクルを通じての環境負荷の低減、製品に使用する鉛はんだの全廃、廃製品を対象とした回収・リサイクルへの取り組みをいいます。

### Green Factories

環境に配慮した生産活動を追求します。まず、企業活動で発生する環境負荷を把握し、環境効率を向上し環境リスクを最小化する施策を計画的に推進。その成果を評価し、社会に広くお知らせします。また、すべての廃棄物を有効利用するゼロエミッション工場にむけた独自の活動を推進。すべての事業所で最高レベルでの達成をめざします。

### Green Solutions

お客さまの環境負荷低減を支援します。富士通グループが蓄積した環境に関する技術と経験を、お客さまの環境経営のために役立てたい。そんな考えから、インターネットや製品開発・技術など最新情報テクノロジーを活用し、お客さまの環境経営にあわせたプランを提案します。21世紀の循環型社会のすべての領域を支援する環境ソリューションを提供します。

### Green Earth

従業員一人ひとりが主役の環境貢献活動。従業員一人ひとりが「地球環境に貢献したい」という思いで推進する活動がGreen Earthです。かつて、人間の活動が与える環境への負荷は、自然の浄化能力も超えてしまいました。私たちは、地球に暮らす一人の人間として、事業所周辺の緑化、環境ボランティアへの参加など、さまざまな手段で環境に貢献します。